

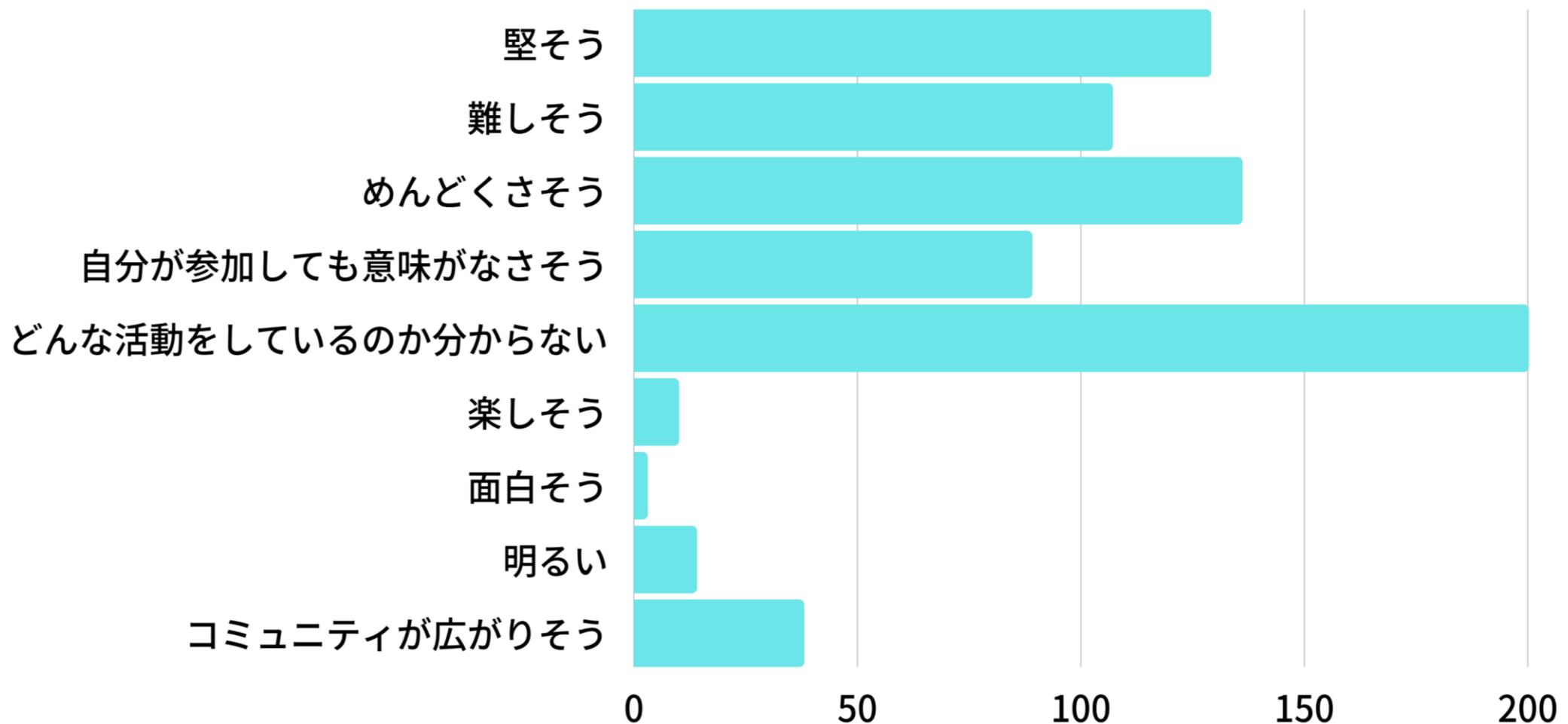
世代別・世代混成会議 による民意創出

若い世代の市民参加促進に向けて

同志社大学政策学部 野田ゼミC班

10・20代男女に聞いた ○○のイメージ

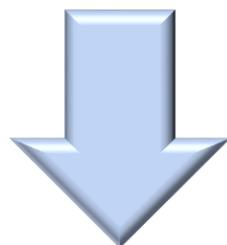
n=365



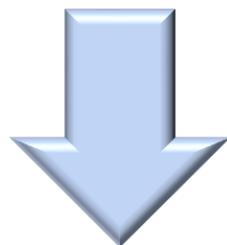
「自治体」

ネガティブ「自治体」ジが強い

「自分が参加しても意味がなさそう」



自分が参加することで何かが変わることを期待している？



若者は

政治的有効性感覚を重視…？



政治的有効性感覚



政治に対して自分がどれだけ影響力を与えられているのかという実感のこと

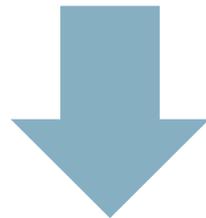
若者は会議で…

- 意見を言いづらい
- 年配者の意見を尊重してしまう



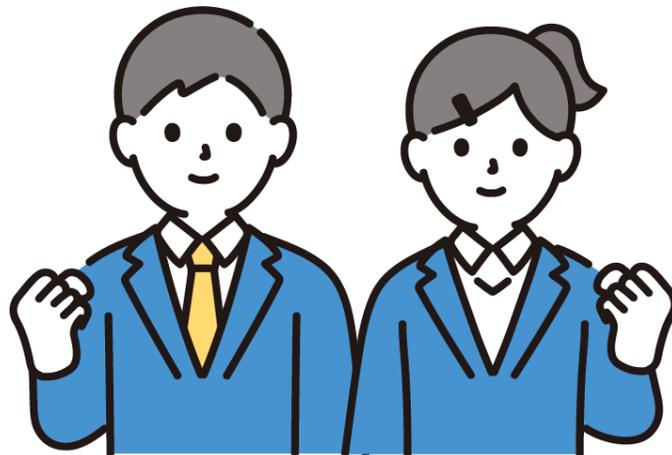
意見を言いやすい

政治的有効性を感じられる



若者の

まちづくりへの参加促進



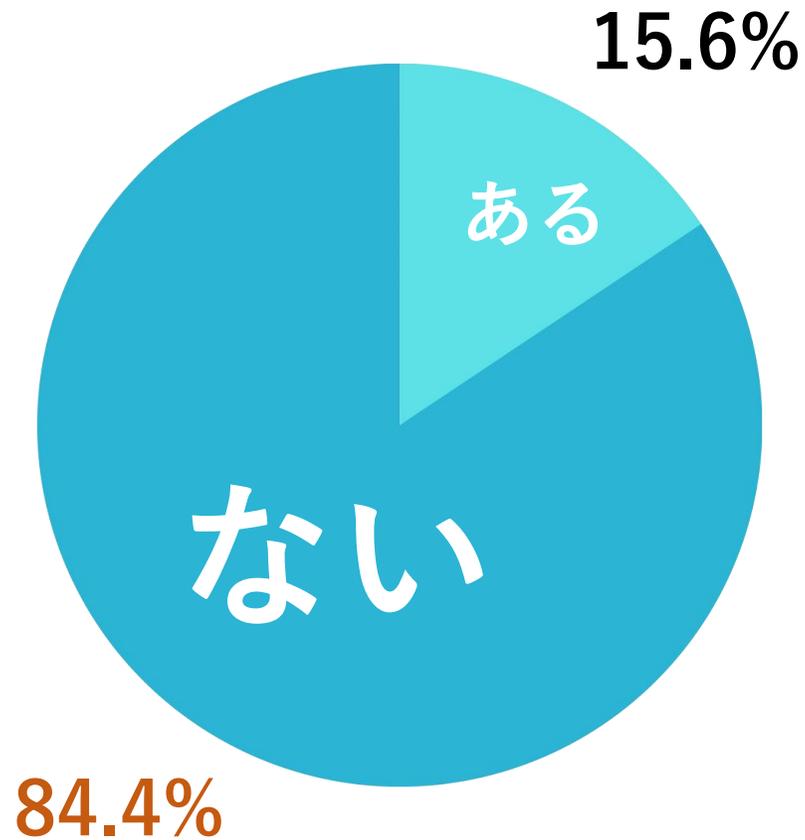
「市民会議」



市民の声を直接届けることができる

Q.市民会議に参加したことはありますか？

※男女516人にアンケート実施



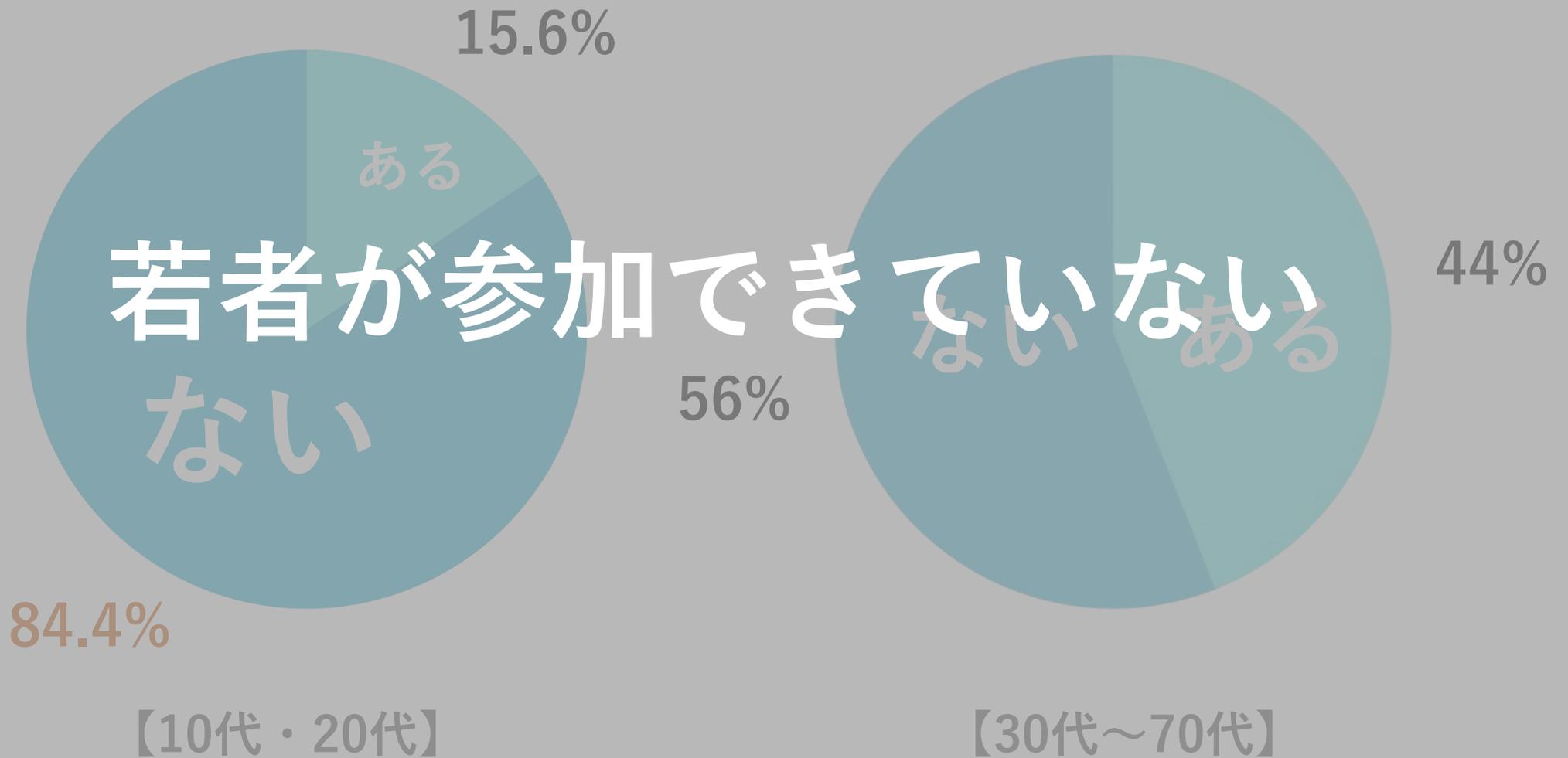
【10代・20代】



【30代～70代】

Q.市民会議に参加したことはありますか？

※男女516人にアンケート実施



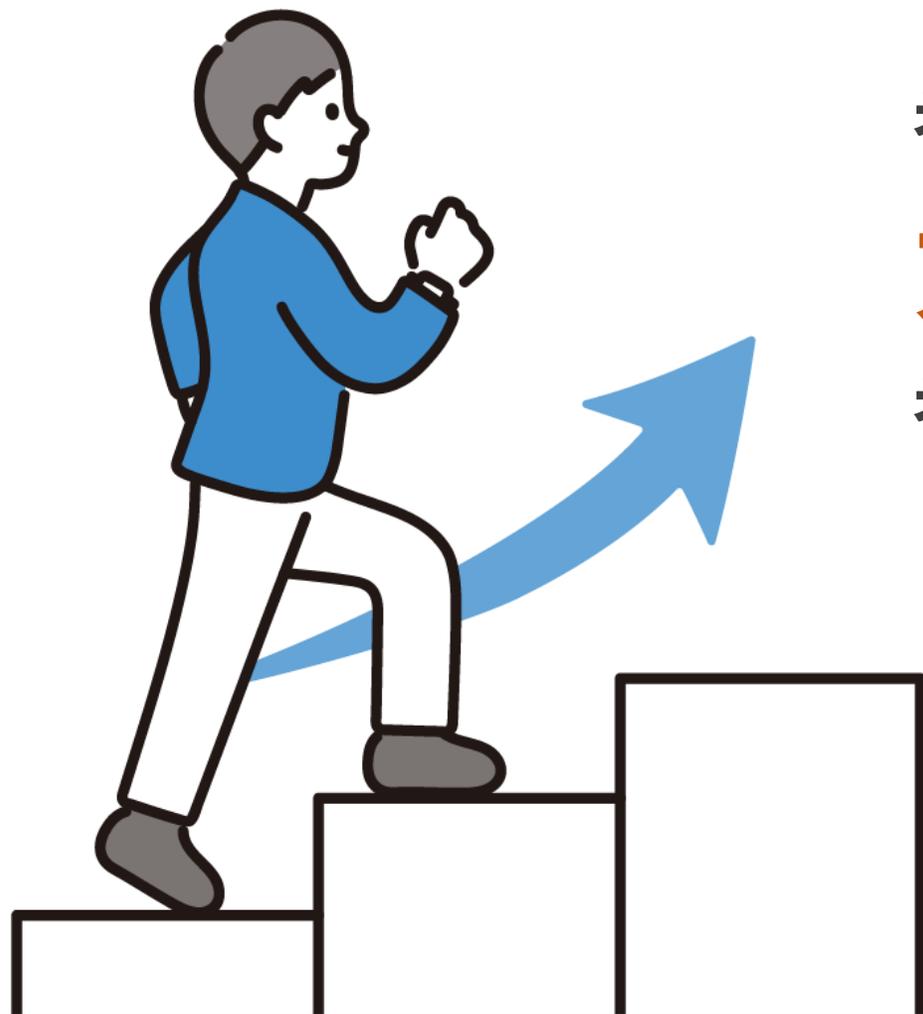
若者を含めた市民参加が必要不可欠



【若者自身が考える若者が投票に行かない理由】

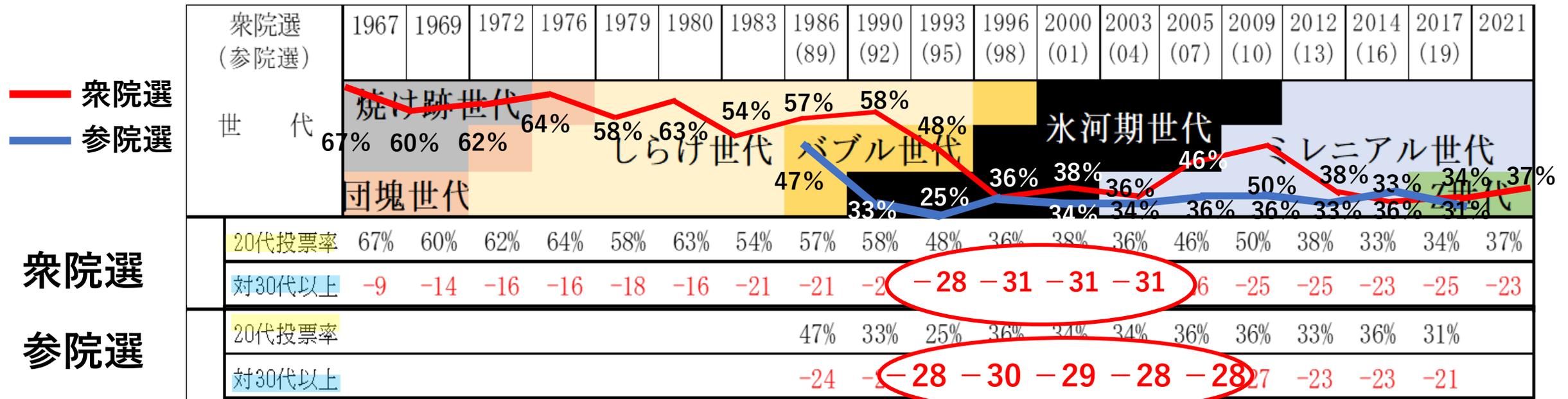
若者が投票に行かない最大の理由は	回答数
政治と選挙に関心や興味がないから	49
政治への不信とあきらめがあるから	20
自分の1票の影響がないから	19
期待できる候補者がいないから	9
選挙のしくみ・候補者情報の不足	6
選挙制度・政治制度がよくないから	8
義務ではないと思っているから	4
面倒くさいと思っているから	12
若者に責任感がないから	7
仕事・アルバイトを優先するから	4
身近に感じていないから	3
住所が実家にあるから	1





参加率が低い若者が
大人になったら
参加してくれるようになる？



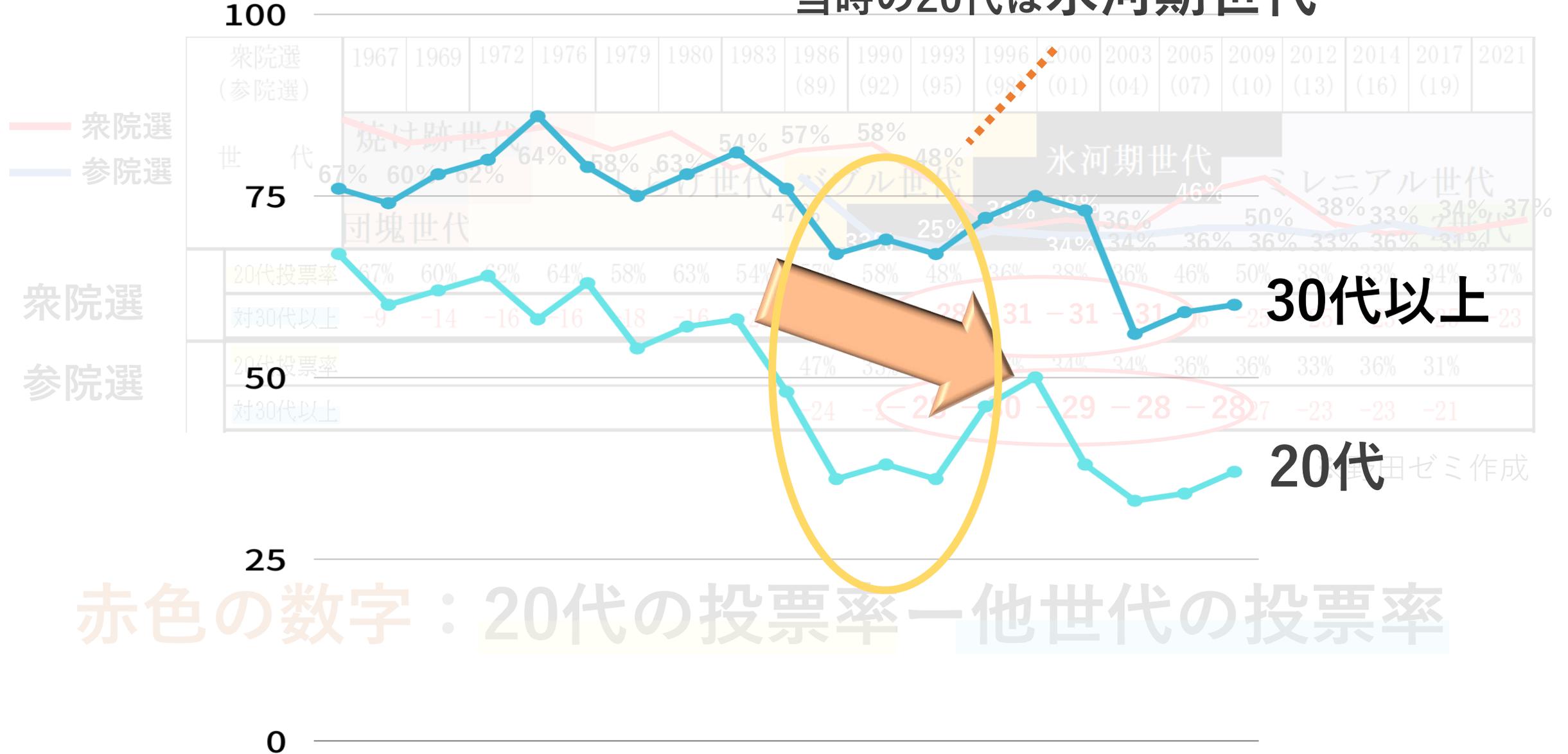


※野田ゼミ作成

赤色の数字：20代の投票率－他世代の投票率

衆院選投票率

当時の20代は氷河期世代



赤色の数字：20代の投票率－他世代の投票率

市民会議への参加意向の要因分析

	係数	標準誤差	P値
年齢	0.201	0.063	0.001 **
女性ダミー	-0.241	0.196	0.218
京都市ダミー	0.379	0.281	0.177
満足度	0.245	0.180	0.173
疑似決定係数	0.0192		

(注) **:1%, *:5%. 観測数475、頑健性のある標準誤差

衆院選投票率

当時の20代は氷河期世代



世代間の価値観断絶

30代以上
20代

赤色の数字：20代の投票率 - 他世代の投票率

The image features a collection of stylized line-art illustrations of people. In the background, there are five figures: an older man with glasses and a serious expression, a woman with a hand to her face looking thoughtful, a man with a slight smile, a younger man with a neutral expression, and a woman with a hand to her face looking thoughtful. In the foreground, a man with a serious expression and his arms crossed is shown. A large, dark blue thought bubble is positioned to the right of the central text, and a smaller, lighter blue thought bubble is on the left. The overall background is a light gray gradient.

互いに妥協する必要性あり

妥協とは…

対立している双方（または一方）が折れ合って
一致点を見出し、事をまとめること。おりあい。

出典：広辞苑

商店街創生センターの神崎浩子さんへのインタビュー調査 (10/20実施)

発言数が多い人の意見に会議が傾く

→ **高世代**の人の発言数が多い印象

様々な意見を持つ人がいる

→ **譲り合う**ことが重要



商店街創生センターの方へのインタビュー調査
(10/20実施)

発言数が多い人の意見に会議が傾く

若者は同じ世代の環境

様々な意見を持つが
だと思話しやすい

→譲り合うことが重要



政策提言

政策提言

世代別会議

→同世代のみで話し合う

世代混成会議

→様々な世代で話し合う

政策提言

世代別会議

→同世代のみで話し合う

世代混成会議

→様々な世代で話し合う

政策提言

妥協し合って
価値観の断絶を乗り越える

仮説

2つの仮説を検証

①「世代**別**会議は**混成**会議と比べて
発言しやすくなるため**発言数が多くなる**」

②「世代**混成**会議を世代**別**会議後に行うと、
**生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要
性が高くなる**」

2つの仮説を検証

①「世代別会議は混成会議と比べて
発言しやすくなるため発言数が多くなる」

②「世代混成会議を世代別会議後に行うと、
生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性が高くなる」

実証会議

実証会議の実施方法

会議における世代区分

①低世代 (19~30歳)	②中世代 (31~53歳)	③高世代 (54~73歳)
<ul style="list-style-type: none">・ Z世代・ ミレニアル世代	<ul style="list-style-type: none">・ 氷河期世代・ バブル世代・ しらけ世代	<ul style="list-style-type: none">・ 焼け跡世代・ 団塊世代

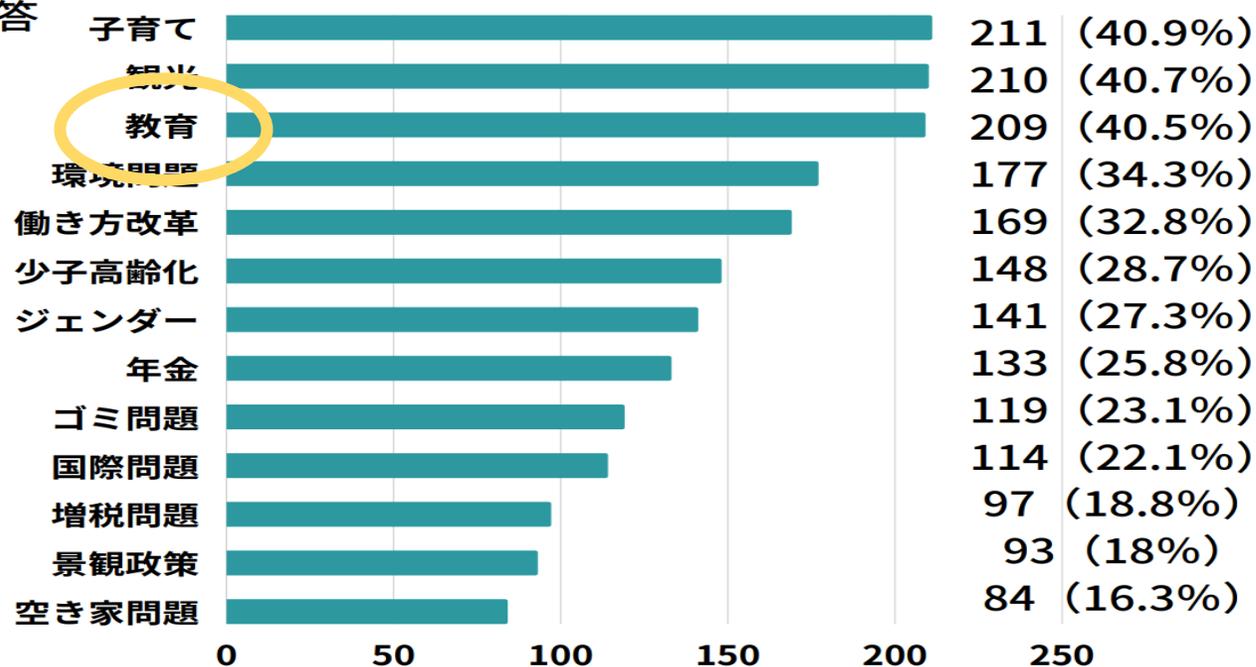
実証会議の実施方法

会議のテーマ

- 1回目（別）…「教育におけるデジタル活用」
- 2回目（混成）…「日本の英語教育」

次のうち、関心のある分野はどれですか？（複数回答可）

516件の回答

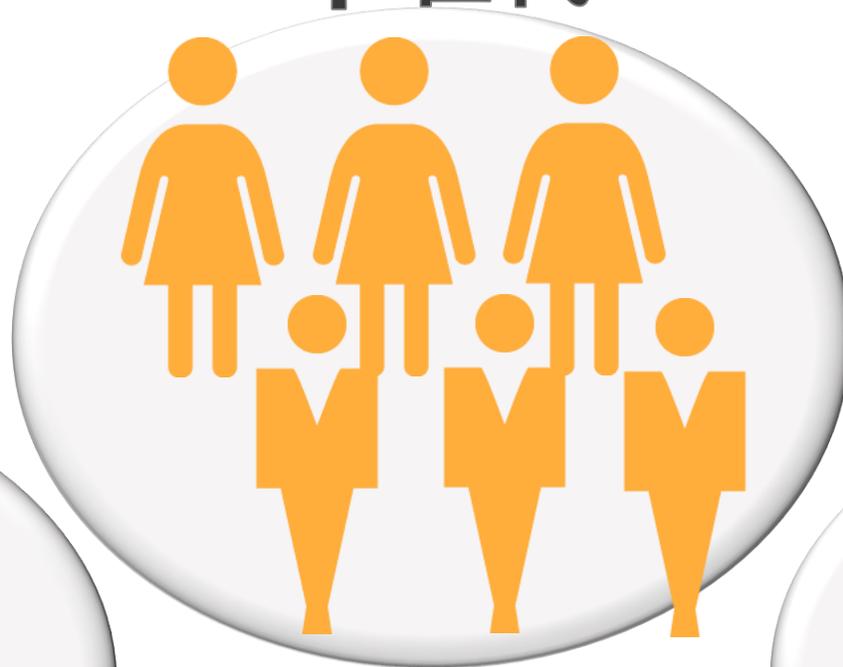


“教育”

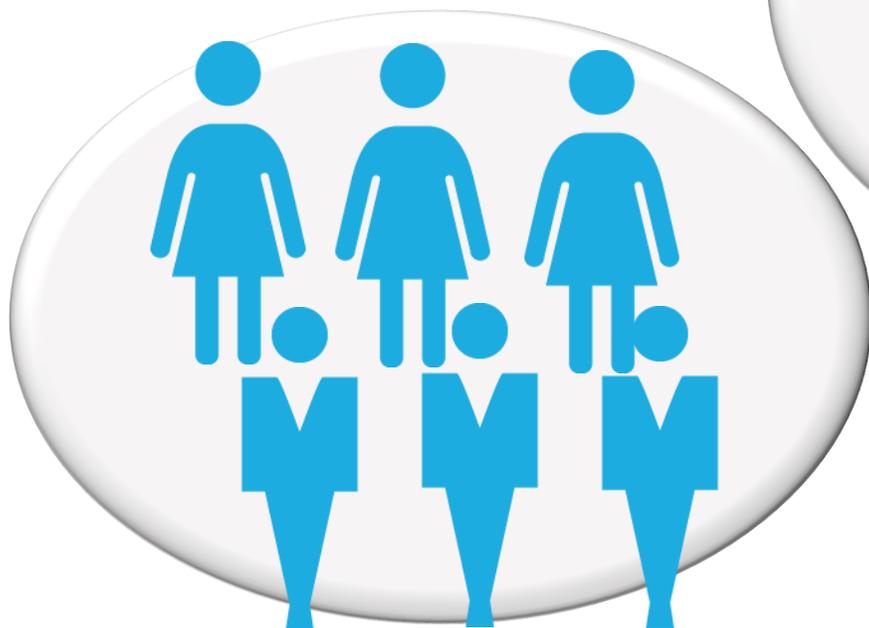
実証会議の実施方法

世代別会議

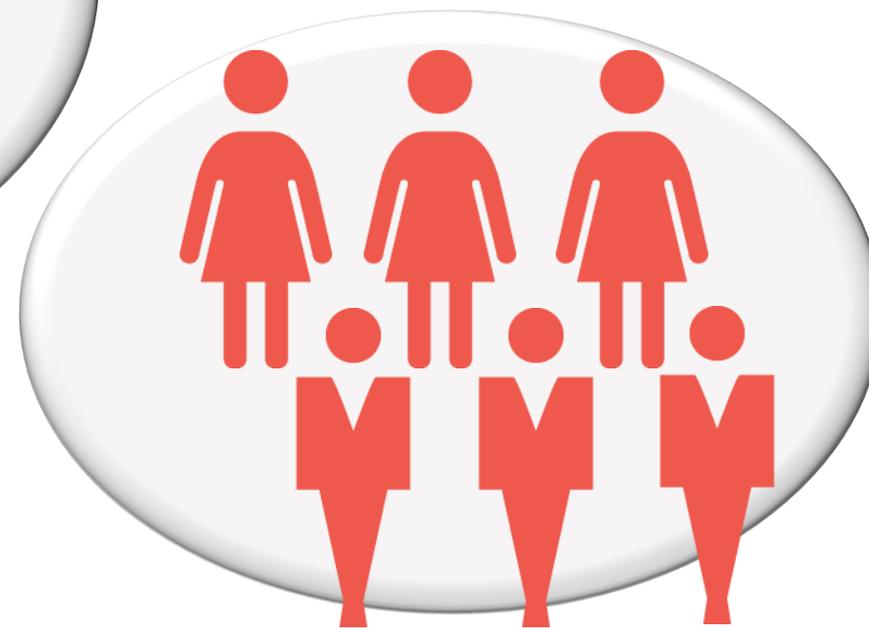
中世代



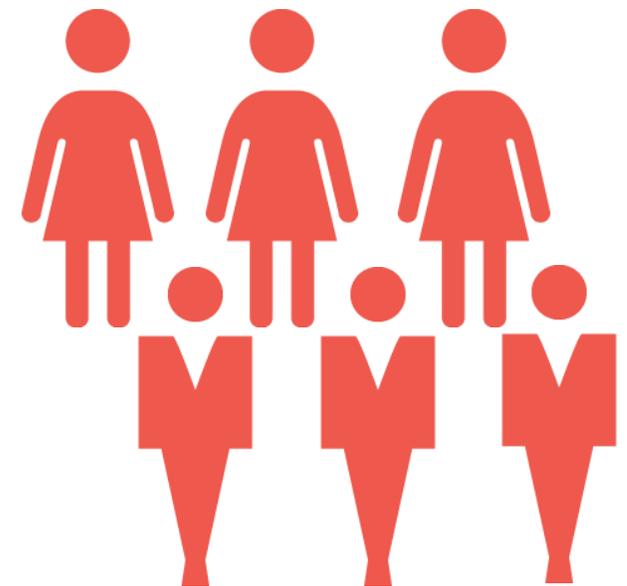
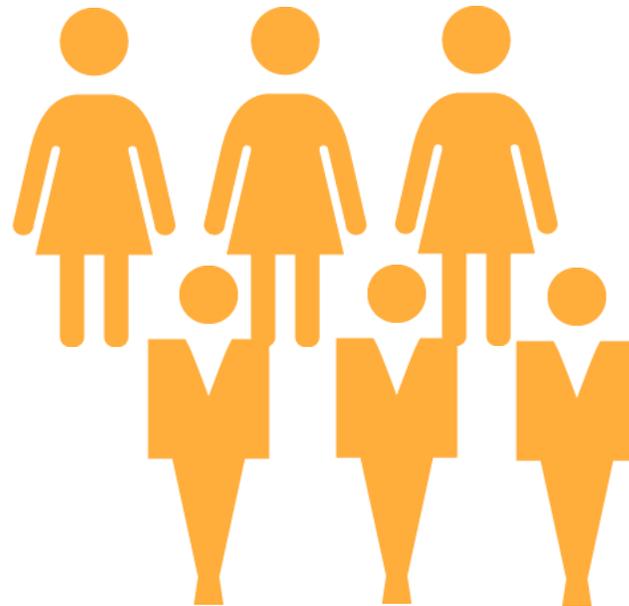
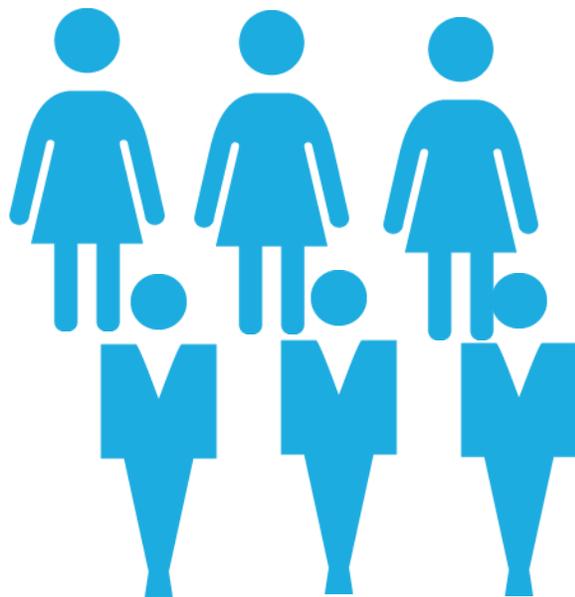
低世代



高世代

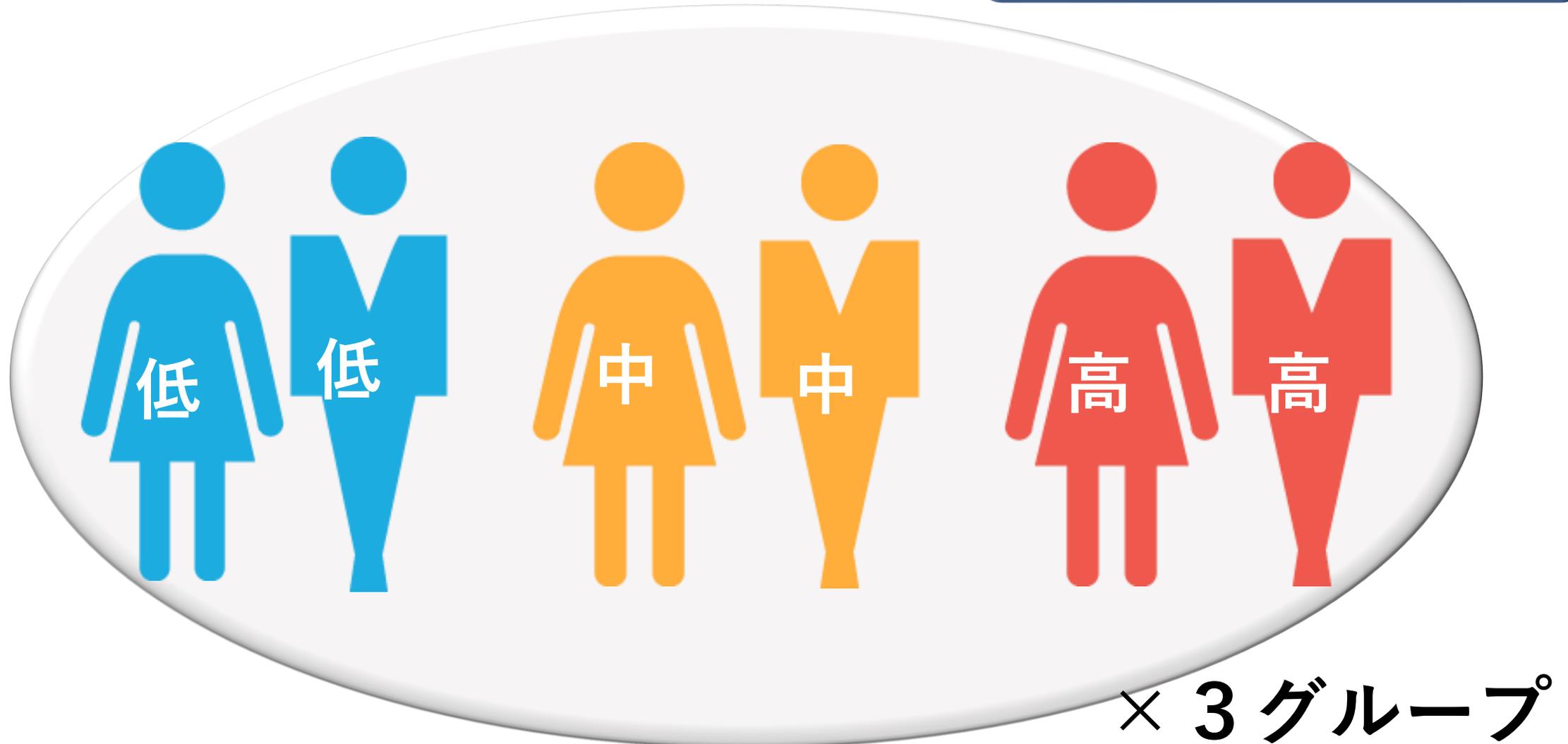


実証会議の実施方法



実証会議の実施方法

世代混成会議



ご協力いただきありがとうございました。



会議参加者18人とゼミ生

(10/16実施)

※プライバシー保護のため、一部の参加者はモザイク処理をしています。

世代別会議の様子



低世代の会議



中世代の会議



高世代の会議

※プライバシー保護のため、一部の参加者はモザイク処理をしています。

実際に会議を使って

2つの仮説を検証

2つの仮説を検証

①「世代**別**会議は**混成**会議と比べて
発言しやすくなるため**発言数が多くなる**」

②「世代**混成**会議を世代**別**会議後に行うと、
**生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要
性は高くなる**」

仮説①「世代別会議は混成会議と比べて発言しやすくなるため発言数が多くなる」

6人の平均値

	低世代			中世代			高世代				
	発言回数 あたり	発言人 時間 あたり	割合 (%)	沈黙 時間	発言回数 あたり	発言人 時間 あたり	割合 (%)	沈黙 時間	発言回数 あたり	発言人 時間 あたり	割合 (%)
世代別会議	12.8	251.8	5.5	10.3	196.8	3.7	7.2	192.3	7.8		
世代混成会議	4.3	196.5	7.3	9.3	225.8	7.3	10.7	216.7	7.3		
差	8.5	55.3	-1.8	1.0	-29.0	-3.6	-3.5	-24.3	0.5		

仮説①「世代別会議は混成会議と比べて発言しやすくなる
ため発言数が多くなる」

○低世代

世代別会議の方が

発言回数 が **多い**

発言時間 が **長い**

沈黙時間 が **短い**



世代別会議の方が
話しやすい



仮説①「世代別会議は混成会議と比べて発言しやすくなる
ため発言数が多くなる」

○中世代

世代別会議の方が

発言回数 が 多い

発言時間 が 短い

沈黙時間 が 短い



世代混成会議が
話しにくいから
発言時間を長くしている



仮説①「世代別会議は混成会議と比べて発言しやすくなる
ため発言数が多くなる」

○高世代

世代別会議の方が

発言回数 が 少ない

発言時間 が 短い

沈黙時間 が 長い

世代混成会議の方が
話しやすかった



2つの仮説を検証

①「世代別会議は混成会議と比べて
発言しやすくなるため**発言数が多くなる**」

②「世代混成会議を世代別会議後に行うと、
仮説①は概ね支持
生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

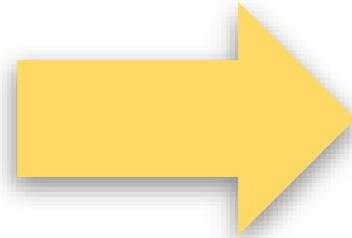
2つの仮説を検証

①「世代別会議は混成会議と比べて
発言しやすくなるため発言数が多くなる」

②「世代混成会議を世代別会議後に行うと、
生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

仮説②「世代混成会議を世代別会議後に行うと、生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

参加者に
アンケート



- 話しやすさ
- 意見の多様性
- 議論の生産性
- 妥協の重要性
- 満足度

(各7点満点)

仮説②「世代混成会議を世代別会議後に行うと、生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

アンケート結果（各7点満点）

	話しやすさ	多様性	生産性	妥協の重要性	満足度
低世代	5.00	5.17	5.75	4.00	5.17
中世代	5.08	5.33	5.33	4.67	5.08
高世代	4.50	4.50	4.17	3.08	4.50

世代混成会議の平均点-世代別会議の平均点

	話しやすさ	多様性	生産性	妥協の重要性	満足度
低世代	0.33	1.00	0.50	1.00	0.33
中世代	1.83	0.67	0.33	-0.33	1.17
高世代	1.67	2.00	1.33	-0.17	1.33

2つの仮説を検証

①「世代別会議は混成会議と比べて
発言しやすくなるため発言数が増える」

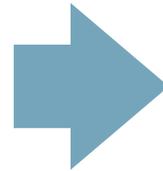
仮説②は支持されない

~~②~~「世代**混成**会議を世代**別**会議後に行うと、
生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要
性は高くなる」

~~仮説②~~「世代混成会議を世代別会議後に行うと、生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

アンケート結果（各7点満点）

	話しやすさ	多様性	生産性	妥協の重要性	満足度
低世代	5.00	5.17	5.75	4.00	5.17
中世代	5.08	5.33	5.33	4.67	5.08
高世代	4.50	4.50	4.17	3.08	4.50

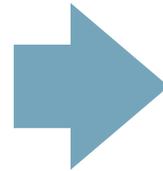


知識量が多い高世代は
議論の要求水準が高い

~~仮説②~~「世代混成会議を世代別会議後に行うと、生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

世代混成会議の平均点-世代別会議の平均点

	話しやすさ	多様性	生産性	妥協の重要性	満足度
低世代	0.33	1.00	0.50	1.00	0.33
中世代	1.83	0.67	0.33	-0.33	1.17
高世代	1.67	2.00	1.33	-0.17	1.33

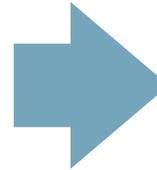


世代混成会議の方が
世代別会議よりも
ほとんどの項目で
得点が高くなった

仮説②「世代混成会議を世代別会議後に行うと、生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

世代混成会議の平均点-世代別会議の平均点

	話しやすさ	多様性	生産性	妥協の重要性	満足度
低世代	0.33	1.00	0.50	1.00	0.33
中世代	1.83	0.67	0.33	-0.33	1.17
高世代	1.67	2.00	1.33	-0.17	1.33

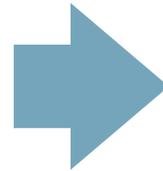


若い世代が混成会議で発言できていないにもかかわらず、混成会議の**雰囲気**で得点を高く回答している

~~仮説②~~「世代混成会議を世代別会議後に行うと、生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要性は高くなる」

世代混成会議の平均点-世代別会議の平均点

	話しやすさ	多様性	生産性	妥協の重要性	満足度
低世代	0.33	1.00	0.50	1.00	0.33
中世代	1.83	0.67	0.33	-0.33	1.17
高世代	1.67	2.00	1.33	-0.17	1.33



若い人が妥協している

2つの仮説を検証

①「世代別会議は混成会議と比べて
発言しやすくなるため発言数が増える」

仮説②は支持されない

~~②~~「世代**混成**会議を世代**別**会議後に行うと、
生産性や満足度が低くなるが、妥協の重要
性は高くなる」

実証会議の結果から・・・

1. 高世代は議論の**要求水準が高い**

2. 混成会議では**若い世代が発言できていない**

⇔混成の雰囲気得点を高く回答

3. 混成会議を経験して妥協の重要性について高く回答

⇒**若い世代が妥協**

関係者インタビュー調査

インタビュー：商店街創生センター 神崎浩子さん

インタビュー内容：「世代における特徴」について

実施日：10月20日

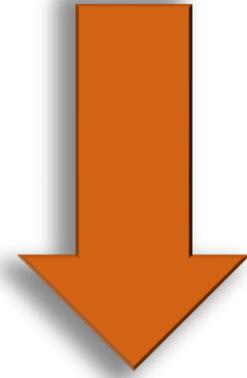
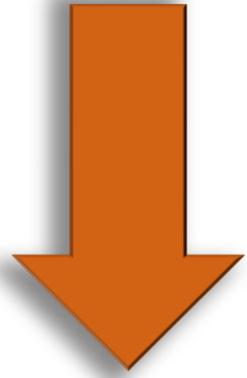
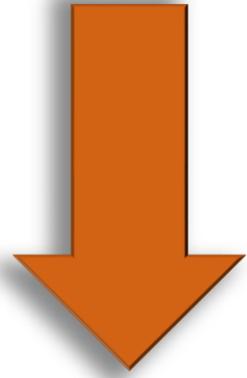
インタビュー結果

低世代の特徴

- ・ **真面目**で発言数が少ない
- ・ 世代混成会議では、**発言しにくい**



高世代の専門知識・雰囲気

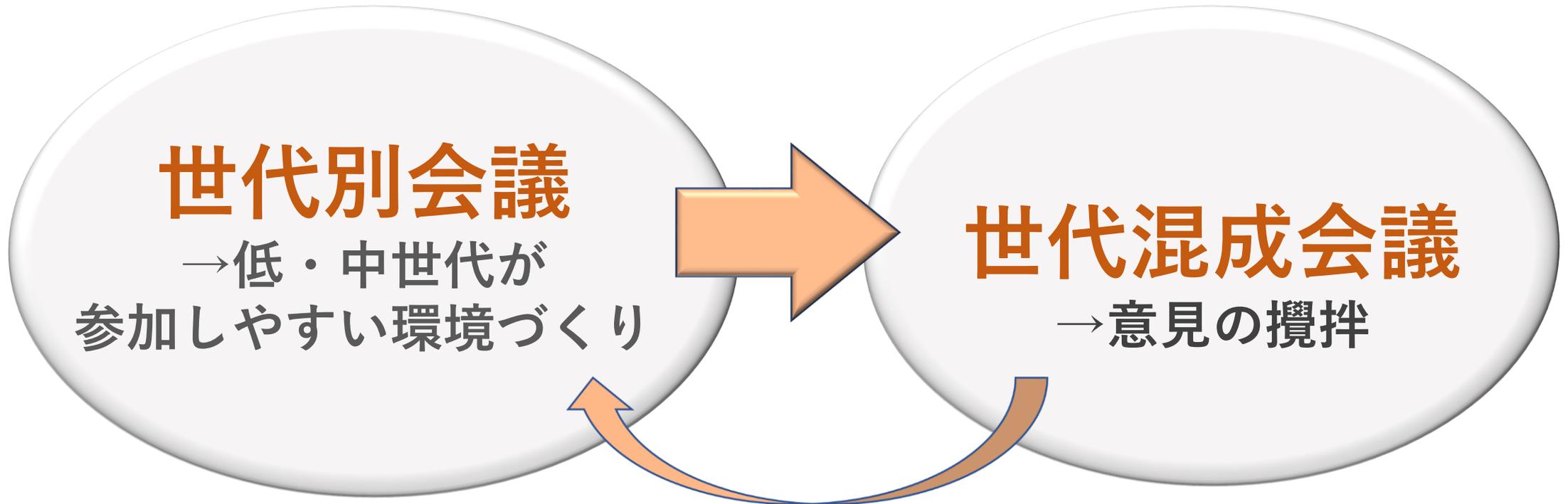


若い世代の



自由な発想

今後の市民会議の在り方



繰り返して
“信頼関係”を作る

結論と課題

-世代別会議-

低世代の
発言回数が多い



-世代混成会議-

話しやすさ・生産性・満足度
の項目で点数が高かった
→ 充実感が高まった

-世代別会議-

低世代の
発言回数が多い



-世代混成会議-

全世代で
話しやすさ・生産性・満足度
の項目で点数が高かった
→ **充実感が高まった**

-世代別会議-

-世代混成会議-

世代別会議は

市民参加の入り口

低世代の発言回数が多いとして有効



課題検討

妥協の重要性は全世代であまり認識されていない

➤ 妥協は民主主義にとって重要な要素



課題検討と解決策

世代別会議と世代混成会議を重ね、
世代間の信頼を醸成

➤ 意見を攪拌し、妥協し合う過程が民主主義を育む





意見の攪拌のイメージ

課題検討と解決策

参加者の**固定化**が
起こらないよう留意

1

意見の
攪拌

2

妥協の
重要性を
認識

3

民主主義を
育む

参考文献

- 市村充章 2012. 「若者の政治参加と投票行動:なぜ若者は投票に行かないのか」
- 『白鳳大学法政策研究所年報』 第 5 号、pp.59-102. 後房雄 2021.
- 『地方自治における政治の復権』 北大路書房 木下勇・田中治彦・南博文(監修)IPA日本支部 (訳) 2000.
- 『子どもの参画』 萌文社(Hart,R.A.1997.Children's Participation).

ご清聴ありがとうございました